

せいらんそう

社会福祉法人
 芳香会誌
 第 3 9 号
 2018年3月発行



芳香会病院青嵐荘療育園、「キャンドルナイト」♪ (P4掲載)

もくじ

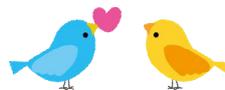
CONTENTS

管理職を拝命して
 ~今日までの歩みと新たな決意~

平成30年度芳香会活動計画
 . . . 2

地域のニーズに応える
 ~建物の開放を通して~
 . . . 3

障害福祉施設トピックス
 . . . 4



更なる福祉サービス向上を
 目指して
 自らを振り返り、見つめ直すために...
 . . . 5

芳香会活動報告 . . . 6
 芳香会スケジュール . . . 6
 編集後記 . . . 6

2016年4月14日に発生した熊本地震において被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げるとともに、当法人も引き続き復興に向けた支援活動に取り組んでまいります。

管理職を拝命して 〜今日までの歩みと新たな決意〜

今年度、社会福祉法人芳香会では二名の新任管理職が誕生しました。時に喜び、時に迷い、前年度までとは違った緊張感の中で、一心不乱に突き進んだ一年だったと思います。そんなお二人に現在の心境と新たな決意を伺います。

初心忘るべからず！

これまでは相談員としての業務を担っておりましたが、昨年四月より養護老人ホーム施設長を拝命致しました。

施設長となつて感じていることは多様な視点で物事の全体を捉える必要があるということ。その上で様々な判断を下さなければならぬという責任の重さや難しさを実感しています。何よりも知らなくてはならないことがたくさんあり、勉強不足・力不足を痛感しています。慣れない業務が多く、必死に取り組み一年があつたという間に過ぎました。



「常に考え実践する」これは職員と自分自身に向けて掲げたスローガンです。漫然と業務を行うのではなく、「今すべきことは何か」を常に考え、一つひとつ丁寧に対応していく。これを意識して利用者の皆様や与えられた業務に向きあっていたいとの想いから掲げました。まだまだ形にもなっていないことばかりですが、初心を忘れずに今後も精進して参ります。

【青嵐荘養護老人ホーム 施設長 根本隆行】

日々感謝！日々成長！

平成二十九年四月一日、たま保育園では入園歓迎会があり、そこでの園長挨拶から仕事が始まりました。緊張し過ぎて、用意していた挨拶さえ言えていなかったことをよく覚えていました。「この園長大丈夫？」と心配させてしまったのではないかと反省した業務初日でした。

振り返ると、自分自身が発する言葉の大切さを学んだ一年でした。決断、判断、相談、連絡、報告など様々なシーンの中で、言葉や文字にした際の影響力の大きさが身に染みしました。心が折れそうにもなりましたが、支えて下さる方々、一緒に考えてくれる仲間がいるからこそ園長としての職務が全うできていると感じております。感謝しかありません。これからも日々精進、笑顔を大切に頑張ります。

【たま保育園 園長 中山雅子】

平成三十年度芳香会活動計画

平成三十年度の事業活動計画について、次に掲げる大きな三つの柱を紹介いたします。

一、管理者及び役付職員の育成について

検討し、新たな取り組みを試みる設立四十八年目の法人運営を迎え、複数管理者においては、世代交代の準備として職員の育成・研修内容等を検討して行く年度とする。

初代理事長は「民間は、自分で組織を強化維持する力が必要だ。組織の中で職員を育てて行く、拡充して行く事が基本だ。」と口癖のように話していた。まさにその事を実践して行くことが今後、重要だと考えている。近年各事業所の運営にも様々な課題を有し、問題を捉えて行く事が重要である。考え、実践する力を有することの

二、職員確保における採用時の体制づくりについて

人手不足の波は当法人の職員確保にも少なからず影響を受けている。更に今後も常勤介護職の採用が困難な状態が生じる事が推測できる。外国人就労者について、平成三十年度は、①EPAの介護福祉士候補生、②介護福祉学科留學生に加え、技能実習生の受け入れについても検討し、働く仲間の受け入れ体制の準備を進めて行く。平成二十二年から導入を開始し、これまでに十一名(四名帰国)の

介護福祉士候補生との出会いはあり、全体的な体制の方法を再考して行く事が必要な時期となった。これまでに、担当者間の話し合いや協力体制を取り、新たな出会いに挑戦して行く。

三、建物及び設備管理を強化する

現在施設を除いて、本体及び付属建物等全てが二十年以上経過した。当然修繕箇所や設備の入れ替え等の数が増えて来ている。建物管理士を中心として、学習会を開催し、より長く維持できるように努めて行く。

【社会福祉法人芳香会 理事長 宇留野光子】



EPA介護福祉士候補生を交えた福利厚生ボーリング大会の様子



H29年度役付職員研修会の様子 (P5 記事記載)

地域のニーズに 대응する 建物の開放を通して

社会福祉法人芳香会では、法人が所有する建物の一部を地域の皆様へ開放し、多目的にご利用頂いております。小さな実践ですが、いずれも長年に渡り継続されている点が特徴です。

のびのび英会話教室

たま保育園では、のびのび英会話教室様からの申し出がきっかけとなり、二〇〇四年から英会話教室の課外教室を実施しています。今回、塾長の野崎様にお話を伺いました。

Q. 当時の子どもたちの様子はどうでしたか。
A. 小学校に英語教育が導入され始めた時期で、保護者の関心も高まりつつありました。生徒も大変興味を持ってレッスンに参加していたと聞いています。

Q. 当園で実施するメリットはありますか。

A. 結城市内ではたま保育園が唯一の教室であり、非常に貴重です。小学校もすぐそばにあるので、生徒が学びを続ける上で利便性が高いと言えます。

Q. 当園で教室を継続していく上での意気込みなどがあればお願いします。

A. 結城市は水戸市・つくば市などと並んで小学校一年生から英語教育を取り入れていた数少ない市です。たま保育園を会場とした英語教育を通じ、微力ではありますが結城市の教育政策に貢献できることを誇りに思います。



建物の貸し出しを通して、地域との繋がりがだけでなく、英語教育の一端を担っていることに改めて気付かされました。これからもこのご縁を大切にして参りたいと思います。

【たま保育園 園長 中山雅子】

堀口ゆきおと音空間

日曜日の午後、地域交流ホームに入ると堀口ゆきおさんの大きく優しい声が聞こえてきます。いつもの練習風景です。

『堀口ゆきおと音空間』は、童謡をはじめとした昔から歌い継がれている日本の歌を中心に、古河市を拠点として幼稚園・学校・施設・各種団体のイベントなどで演奏活動を行っている三人組のグループです。二〇〇八年に結成され、普段はピアノ教室や歌の指導で活躍されております。

およそ十年前「ピアノ教室に通っている障害を持った子どもたちへステージ発表の場を提供したいが、練習場所に困っている。」と父母の会より寄せられた相談が地域交流ホーム貸し出しのきっかけです。

発表会終了後も、堀口ゆきおと音空間さんには地域交流ホームを使用して頂くことになり、各事業所でのゲスト演奏の他『芳香会四十五周年記念ありがとうコンサート』にもご出演されました。



メンバーの皆さんは優しく気さくな素晴らしい方々ですが、一人でも多くの人に音楽を聴いて欲しいという熱い思いを持ち、厳しく、拘りを持って練習に取り組んでおられます。

今後入所者や地域の方に音楽を通して楽しんで頂く機会の創出など、様々な機会を設けていければと考えております。

【芳香会病院青嵐荘療育園 児童指導員 齋藤修治】

茨城タルクミーティング

毎週月曜日、十七時三十分になると「スリッパ、相談室オツケーです。」の聲が事務所内に響きます。暫くして「こんにちわっ！」と十人ほどのグループが入って来られます。茨城タルク自助グループの皆さんです。こちらも負けじと大きな声でお迎えます。下足はいつもきれいに並べられています。

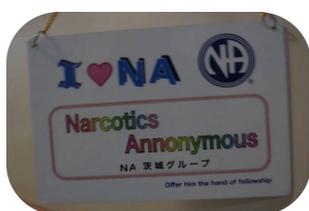
青嵐荘療育園では、地域との繋がりの一環として茨城タルクさんへミーティング会場を貸し出してあります。この事業は茨城県地域生活定着支援センターが仲立ちとなり、平成二十三年十月三日からスタートしました。法人創立四十五周年記念イベントの際には、茨城タルクさんに和太鼓演奏を披露して頂くなど、その後様々な繋がりが生まれました。

先頃はミーティングに同席させて頂く機会がありました。一つの課題に対して皆さんで話し、最後には全員で手を繋ぎ誓いの言葉を述べます。日々、心と体のバランスをとる難しさをひしひしと感じました。

今後とも地域の声に耳を傾け、寄り添っていく姿勢を大切にしたいと思います。

【芳香会病院青嵐荘療育園

事務員 山中明美】



障害福祉施設「ピククス」

「免荷リフト」導入

青風荘療護園



青風荘療護園では、職場定着支援助成金制度を利用し、平成三十年一月より、免荷式リフトPOPPOを導入しました。業務における職員の負担軽減を目的とし、適切な使用方法を全生活支援員が把握する必要があります。学習会を開催しました。学習会では、POPPOを初めて見る職員が殆どでしたが、実際に使用したりする中で、「A様に使用したら、今よりも安全に歩行訓練が出来るかもしれない」「B様の運動訓練時に使用すれば、負担軽減に繋がると思う」等の意欲的な発言が多く聞かれました。当施設では既に、床走行式リフトやスタンディングリフト、浴室で使用する櫓やぐら型リフト等を使用している背景もあり、負担軽減を図る為の福祉機器活用については職員全体で受け入れられているように思います。

POPPOについては導入から日が浅く、運用方法はまだ確立されていませんが、現在歩行器を使用し歩行訓練を実施しているご利用者や、手摺りを使用して立位保持訓練を実施しているご利用者を対象に使用することで、より安全で効果的な運動訓練が実施出来るよう取り組んでいきたいと思っております。

「第五回キャンパナイト」を実施

芳春会病院青風荘療護園

「大好きいばらき県民会議」では東日本大震災の犠牲者への哀悼と家族や地域の絆への思いを次世代に紡いでいくことを目的として「大好きいばらきキャンパドルのW.A.」を実施しています。



当事業所では昨年よりクリスマス会で実施し、今年で二回目の参加となりました。クリスマス会は地域交流を目指し、十一年以上前から古河市のネーブルパークポニー牧場乗馬クラブの子供たちと合同開催をしています。会の中で参加者の皆様に東日本大震災での想いや復興し元氣を取り戻してきた今の想い、風化させない想いや決意を寄せ書きに込めて頂き、一人ひとりがLEDキャンパドルの明かりを灯した幻想的な雰囲気の中で宣言の言葉一つ一つが胸に響きました。東日本大震災の発生から六年が経ち、震災時幼く実体験として記憶がない子供たちも増えていきます。今後も活動を継続し震災を風化させないこと、絆の大切さを次世代へ伝えていきたいと思っております。

「合同帰り旅行開催！」

青風荘路のとう舎

今回は路のとう舎がバックアップしているグループホーム「みのりホーム」から元ケアホームである「芳春のいえ」「輝希のいえ」で毎年合同開催している日帰り旅行をご紹介します。昨年の十一月に、圏央道全線開通記念と銘打って、実際に圏央道を利用し、茨城県牛久市まで行きました。



まずは牛久シャトーを見学。一九〇三年に開設した本格的ワイン醸造場で、その建物は国の重要文化財に指定され、煉瓦作りの建物でとてもお洒落な雰囲気のところ。昼食にバーベキューを実施し、ご利用者も大変楽しまれていたようです。もう一つの見学地は牛久の大仏。高さ二〇m。立像の高さでは世界で三番目ですが、ブロンズ製の立像としては

世界最大級で、その大仏様の佇まいは遠くからでも圧巻です。ご利用者もその大仏の大きさに驚いて、歓声が上がっていました。

一日を通して、とても楽しく貴重な時間を過ごすことができました。日頃遠くまで出掛ける機会の少ないご利用者もいらっしやいますので、今後も楽しんでいただけるような企画を立てていきたいと考えております。

「太鼓和音十二年目の決意」

青風荘つくし園

つくし園では、地域の皆様に「感動」と「勇気」を与える活動として、ご利用者が主体となり考え、平成十七年に和太鼓グループを結成しました。グループ名である「和音（かずね）」には、「和楽器の音」「みんなの輪になる」「平和の和」等、結成当時のメンバーの想いが込められています。十二年の間その想いは変わらず、自助具の改良や叩き方を工夫しながら参加メンバーを増やし、古河ふれあい広場・ほたる祭りといった地域の大きなイベントでの発表を継続実施できるようになりました。

そして、十二年を迎えた今、更なる飛躍を目指し、「魅せる演技」「観客との一体感」を新たな課題と考え、オリジナル法被と太鼓物品の改良資金として、助成（NHK歳末助け合い・公益財団法人前川報恩会 平成二十九年福祉助成）を受けました。



昨今では法人内老人ホームでの年始会にて、新たな機材と洗練されたオリジナル法被のお披露目を兼ねた演奏を行い、お客様の注目を集めることができました。これからも、「つくし太鼓和音」は新しい演奏方法を試行錯誤しながら経験を重ね、地域の皆様に「感動」と「勇気」を与えることを目標として頑張っていきます。応援よろしくお願ひします。

更なる福祉サービス向上を目指して 自分を振り返り、見つめ直すために…



芳香会では、年間を通して、法人内職員に向けた研修会や勉強会を各委員会が主体となり実施しております。今号では、その中でも、研修企画の主となる広報・研修委員会から今年度の研修会実施における要点を述べて頂きました。また、法人内研修から「社用車実務研修会」をピックアップ。法人内での社用車事故の状況もあわせてご紹介致します。

法人内研修会に一工夫



従来の研修形態では、二ヶ年に渡る自己目標を策定し、その実践内容報告を行うものでしたが、今年度は外部講師をお招きし、法人内職員に対する研修内容の見直しを図りました。

一つは、次期リーダーになってほしい、と期待する職員向けに、チームビルディング研修を実施しました。チームビルディング研修とは、ある特定の課題や目標に対して役割を分担し、一定のルールのもとに課題解決に集中し、リーダーシップを発揮しあってコミュニケーションを図り、シナジー効果を生むことを期待する研修です。座学が中心の研修ではなく、一見すると遊んでいるのか？と思えるほど身体を使いながら、チームを形成する過程を学び、問題解決に奮闘する姿はこれまでの研修ではなかった内容です。

もう一つは、実際に役職者として働く職員向けの役職者への研修も行いました。研修目的は組織力の向上。それに向けた役職者としての役割や課題解決への進め方・後輩指導を講義により学びました。

今回の研修のもう一つの目的は、日頃役職者として多忙な業務にあたる職員同志の交流を深める機会にも繋がればと考えました。会場は筑波のホテル、一泊二日間の研修とし、二日目の午後には外部の視察研修を行いました。介護



用世界初のサイボーグ型ロボットHALのサイバーダンススタジオでHALを実際に装着しました。福祉・介護の現場では様々な機器の開発がされ、法人内でも数年前から機器の導入をしており、未導入施設の職員は新たな体験となり、施設での検討材料になったと思います。

今年度、広報・研修委員会では話し合いを行い、新たなスタイルの研修内容を企画しました。従来の取り組みに満足するばかりでなく、変化することを意識する企画内容にもなり、参加者からも好評を得ました。

【広報・研修委員会 石田委員】

社用車実務研修会実施

当法人では所有する公用車数が七〇台を超え、多くの職員が運転業務に対応していることから、県西自動車学校様のご協力を得て、実務研修会を実施しております。そこで今号では、今年度の研修会参加職員からひと言ご紹介させて頂ければと思います。

また下記表は、今年度を含めた直近二ヶ年の法人内事故発生数です。今後も事故件数ゼロを目指し、意識付と運転技能面を高めていくため、研修会の実施を継続して参ります。

芳香会事故発生件数

H29年度		H28年度	
発生日時	処理	発生日時	処理
H29. 5. 12	物損	H28. 9. 6	物損
H29. 6. 2		H28. 9. 20	
H29. 9. 16		H28. 10. 8	
H29. 11. 30		H29. 1. 23	

事故事例から学ぶ安全運転

平成二十九年十一月二十八日、社用車実務研修会に参加致しました。本研修は社用車で自動車学校のコースを実際に運転し交通ルールや運転技術を再確認したり、座学で送迎車における事故事例を参考に事故防止について学ぶ内容でした。

座学において死亡事故件数が最も多い原因が漫然運転である事を知り驚きました。漫然運転とは、居眠り運転、わき見運転といった明らかな過失があるものではなく、「相手が出てこないだろう」等と思い込み、ぼんやりと運転してしまうことです。漫然運転を未然に防ぐには、自身がハンドルを握る際にしっかりと緊張感を持つことが大切であると教えて頂きました。また、漫然運転をしてしまう時は肉体的に疲れている場合も考えられるので、睡眠、休養をとり、体調を整える事が大切であることを学びました。高齢者を乗せた送迎において、急ブレーキを踏んだだけで乗員が死亡してしまったり、私が見て驚かすような事でもありました。私が園児を乗せて運転する際にも起こり得る事ですので、運転をする際には「一乗員の命を乗せている」という事をしっかりと意識し、常に緊張感を持って安全運転に努めていきたいです。



【牛ヶ谷保育園 亀里保育士】

芳香会活動報告



福利厚生企画「お楽しみ抽選会」

一月十九日(金)、青嵐荘ケア・アシスタンスに於いて、担当職員及びご利用者の皆さまにご協力を得て、福利厚生企画「お楽しみくじ抽選会」を実施致しました。この抽選会とは、福利厚生として、様々な景品の応募コースを企画させて頂き、応募頂いた職員の中から、ご利用者に抽選頂いて、当選者を決定するという企画です。今年度は今回で二回目の実施となりました。応募総数は一三四名、当選された三十八名の皆さま、おめでとうございました。



今号では、今まで過去三年間に実施した「お楽しみ抽選会」の中から、人気景品をランキング形式でご紹介します。

お楽しみ抽選会 人気景品ランキング(過去三カ年)

第一位 東京デイズニースーツ

1デーパスポート

言わずと知れた人気景品で、三カ年の間での当選数は三十本のところ、累計応募者数二三八名と大変多くの職員にご応募頂きました。芳香会では、単身者向けの大人ペアでの応募コースの他に、大人ペアに加え、小人ペアをセットにした家族コースを設け、職員のご家族も含めて、楽しんで頂けるように同じ景品でもコースを工夫して、準備しております。

第二位 全国共通お食事券 ジェフグルメカード

全国三五〇〇店舗の加盟店で利用できるお食事券。三カ年での当選本数は十五本。累計六十六名の皆さまからご応募頂きました。額面が五百円の複数食事券の為、様々なシーンで無駄なく利用できることが人気の理由でしょうか。

第三位 ユニクロ ギフトカード

冒頭で実施報告をさせて頂いた今年度第二回目の抽選会で初登場のギフトカードが第三位にランクインです。当選本数十本、三十八名からご応募頂きました。

以上、福利厚生景品上位三位をご紹介しました。当法人では宇留野理事長のご提案のもと、この他にも、相撲観戦、劇団四季観劇、ボーリング大会、綱引き大会等、様々な福利厚生を企画しております。今後も職員のリフレッシュになれるような多彩な企画実施に努めて参ります。

【芳香会 法人本部事務局 事務員 谷口】



芳香会スケジュール

五月 九日	平成二十九年度事業報告・決算(案) 法人内ヒアリング
五月 十二日	監事ヒアリング
五月 十九日	理事会
五月 二十四日	移動献血事業(上大野)
五月 二十八日	移動献血事業(結城)
六月 九日	定時評議員会



編集後記

先日地元のマラソン大会の給水ボランティア体験をしました。年々エントリーの人数が増え今回は一万三千人と。企画をした市の職員や協力企業の方々のご苦勞に感謝です。ボランティアも老若男女様々な団体・個人で約二千人と驚きです。(光)

本号を以て、会報編集委員を卒業します。良くも悪くも堅苦しい文章表現が特徴の私ですが、この仕事を通して「読み手の立場に立つ」という視点を養う事が出来ました。とても充実した二年間でした。本当にありがとうございました。ございました。(賢)

今年度も最終月となり、時間の速さに驚きます。三カ年度には、より楽しんで頂けるような福利厚生を企画出来たらと考えております。福利厚生について、何かリクエストがありましたら、本号までご連絡を！(絢)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp

*写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。